



中国西南部 の旅人

—鳥居龍藏と高原の少数民族—

2026

1.31 土 - 3.8 日

【会場】徳島県立博物館1階 企画展示室 【開館時間】9:30~17:00

【休館日】月曜日(2月23日[月・祝日]は開館)、2月24日[火]

【観覧料】一般 200円、高校・大学生 100円、小・中学生 50円

土・日曜日・祝日は高校生以下無料／学校教育、社会福祉施設等での利用は無料／身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の所持者とその介助者1名は無料／65歳以上は半額／20名以上の団体は2割引 ※割引を希望される方は証明できるものをご提示ください。

【主催】徳島県立鳥居龍藏記念博物館／徳島県立博物館

【協力】国立民族学博物館

文化の森総合公園

徳島県立鳥居龍藏記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
<https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp>



中国西南部の旅人

—鳥居龍藏と高原の少数民族—



徳島県出身の人類学者である鳥居龍藏（一八七〇－一九五三）は、十九世紀末から二十世紀前半に東アジア各地を訪れ、多くの調査を行いました。その中でも、一九〇二年から翌年にかけて中国西南部を旅し、現地に住む少数民族を調査したことには、鳥居の生涯において大きな節目になったと言われています。鳥居が中国西南部を訪れたのは一度だけでしたが、彼の同地域に対する関心は晩年まで続いていたことが、近年明らかになってきました。

当館の開館十五周年を記念する今回の企画展では、鳥居が中国西南部に旅立つこととなった背景、鳥居が現地で出会った少数民族、旅を終えた後の鳥居と中国西南部のつながりについて紹介します。

展示構成

- I 動機としての台湾調査
- II 鳥居龍藏、中国西南部を旅する
- III 旅を終えた後の鳥居龍藏と中国西南部

関連イベント

記念講演会（第1回）「ミャオ族の文化を探る」

日時／2月1日 [日] 13:30～15:00

※受付 13:00～

会場／文化の森 イベントホール（1階）

講師／鈴木正崇氏（慶應義塾大学名誉教授）

定員／100名（先着順）※申込不要、参加無料

記念講演会（第2回）「鳥居龍藏と中国西南部」

日時／2月22日 [日] 13:30～15:00

※受付 13:00～

会場／文化の森 イベントホール（1階）

講師／吉開将人氏（北海道大学大学院教授）

定員／100名（先着順）※申込不要、参加無料

展示解説

日時／2月7日 [土]、2月28日 [土]、

3月8日 [日]

いずれも 13:30～14:30

※申込不要、観覧料が必要

【表面】<上>貴州省の安順府（現・安順市）で撮影されたミャオ族（当館蔵）
<中>鳥居龍藏（当館蔵）/<下>貴州省東部を流れる清水江
【裏面】<背景>紋様縫取り腹掛（鳥居龍藏収集、国立民族学博物館蔵）の刺繡
<上>銅鼓（国立民族学博物館蔵）/<中>蘆笙（国立民族学博物館蔵）
<下>未公刊原稿「貴州省の苗族」第1・2冊（当館蔵）

アクセス

徳島駅から

バス…約25分

タクシー…約15分

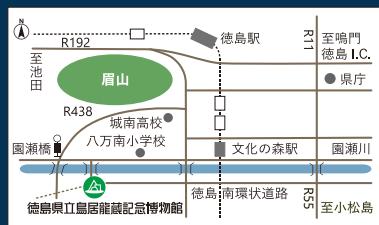
文化の森駅から

徒歩…約35分

徳島自動車道「徳島 I.C.」から

車…約20分

※無料駐車場あり



文化の森総合公園

徳島県立鳥居龍藏記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
<https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp>

